

---

# Magellan 1000i

# Magellan 1400i

バーコードメニューシート Ver1.02



初期設定バーコード

デフォルト



\ A\ FNC300000\ CR7FFC00\ CR00000\ CR

設定を初期設定に戻す

### 2度読みタイムアウト時間設定（初期値=400ms）

2度読みタイムアウト設定は、バーコードリーダーが同一バーコードの2度読み防止をする時間の設定となります。バーコードリーダーがバーコードの読み取り完了後、読み取ったバーコードデータと同一のデータが読み取りエリア内にある場合、設定された時間が経過するまで読み取りを行いません。しかし、バーコードリーダーが異なるバーコードデータの読み取りを行う際は、直ぐに読み取りを行います。

下記設定バーコードで、0.1秒間隔で0.1秒から1秒まで時間設定できます。

#### 2度読みタイムアウト=0.1秒



\ A\ FNC300000\ CR004D0A\ CR00000\ CR

#### 2度読みタイムアウト=0.2秒



\ A\ FNC300000\ CR004D14\ CR00000\ CR

#### 2度読みタイムアウト=0.3秒



\ A\ FNC300000\ CR004D1E\ CR00000\ CR

#### 2度読みタイムアウト=0.4秒



\ A\ FNC300000\ CR004D28\ CR00000\ CR

#### 2度読みタイムアウト=0.5秒



\ A\ FNC300000\ CR004D32\ CR00000\ CR

2度読みタイムアウト=0.6秒



\ A\ FNC300000\ CR004D3C\ CR00000\ CR

2度読みタイムアウト=0.7秒



\ A\ FNC300000\ CR004D46\ CR00000\ CR

2度読みタイムアウト=0.8秒



\ A\ FNC300000\ CR004D50\ CR00000\ CR

2度読みタイムアウト=0.9秒



\ A\ FNC300000\ CR004D5A\ CR00000\ CR

2度読みタイムアウト=1.0秒



\ A\ FNC300000\ CR004D64\ CR00000\ CR

### 読み取り動作後のタイムアウト時間設定（初期値=320ms）

バーコードを読み取った後、新たなバーコードの読み取り開始までの時間を設定します。タイムアウト時間は 10ms(0.01 秒)単位で設定できます。

読み取り動作後タイムアウト設定開始



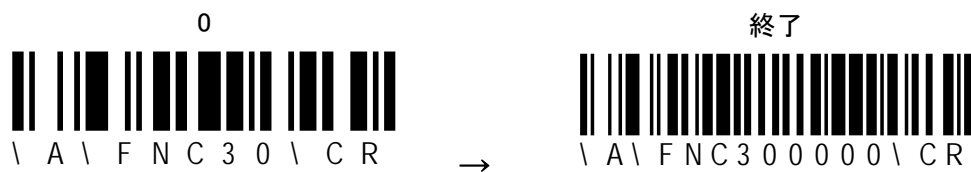
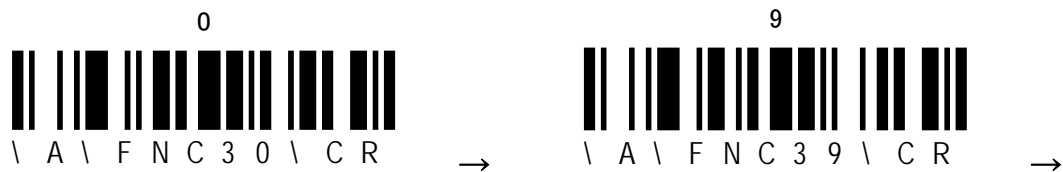
設定する時間を数字 3 桁で入力して下さい。数字バーコードは巻末の付録 A から選択して下さい。設定可能な値は、0～255 までです。



終了



例) 90ms (0.09 秒)に設定したい場合、読み取り動作後タイムアウト設定開始のバーコードを読ませた後、以下のバーコードを順に読ませて下さい。



### スリープモード時間設定（初期値=10分）

この設定は、スリープモードの設定時間内に読み取りエリア内にバーコードらしきものが存在せず、設定した時間を経過すると、バーコードリーダーはマイクロプロセッサの電源供給をカットして、“スリープモード”またはUSBキーボードでは“サスペンドモード”に入ります。バーコードの状態は、バーコード上部のLEDが点滅して、読み取り用LEDは消灯されます。

そして、バーコードらしきものが読み取りエリア内で確認できれば、自動的にスリープモードから抜け出します。

#### スリープ=15秒



#### スリープ=30秒



#### スリープ=1分



#### スリープ=2分



#### スリープ=3分



スリープ=4分



\ A\ FNC300000\ CR03AF10\ CR00000\ CR

スリープ=5分



\ A\ FNC300000\ CR03AF14\ CR00000\ CR

スリープ=6分



\ A\ FNC300000\ CR03AF18\ CR00000\ CR

スリープ=7分



\ A\ FNC300000\ CR03AF1C\ CR00000\ CR

スリープ=8分



\ A\ FNC300000\ CR03AF20\ CR00000\ CR

スリープ=9分



\ A\ FNC300000\ CR03AF24\ CR00000\ CR

スリープ=10分



\ A\ FNC300000\ CR03AF28\ CR00000\ CR

スリープ=12分



\ A\ FNC300000\ CR03AF30\ CR00000\ CR

スリープ=30分



\ A\ FNC300000\ CR03AF78\ CR00000\ CR

スリープ=1時間



\ A\ FNC300000\ CR03AFF0\ CR00000\ CR

### LED とブザー音通知の設定 (初期値=有効)

電源投入後の操作可能状態になった際の LED とブザー音の通知

ブザー音通知=無効



\ A\ FNC300000\ CR020700\ CR00000\ CR

ブザー音通知=有効

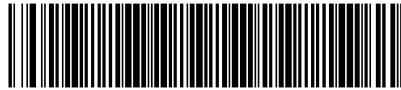


\ A\ FNC300000\ CR020701\ CR00000\ CR

### 読み取り時の通知タイミング設定（初期値=デコード後）

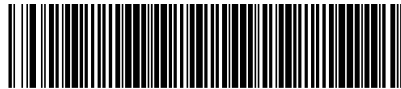
バーコードスキャナがバーコードを正しく読み取った際、どのタイミングで読み取り完了通知をブザー音及び緑色 LED の点滅で行うか、以下のバーコードから選択します。

#### 通知タイミング=デコード後



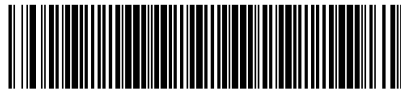
\ A\ FNC300000\ CR009900\ CR00000\ CR

#### 通知タイミング=送信後



\ A\ FNC300000\ CR009901\ CR00000\ CR

#### 通知タイミング=CTS動作後



\ A\ FNC300000\ CR009902\ CR00000\ CR

読み取った後のブザー音（初期値=有効）

バーコードを正常に読み取った時のブザー音についての設定です。

ブザー音=有効



\ A\ FNC300000\ CR006701\ CR00000\ CR

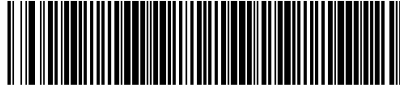
ブザー音=無効



\ A\ FNC300000\ CR006700\ CR00000\ CR

ブザー音程（初期値=中音）

ブザー音程=低



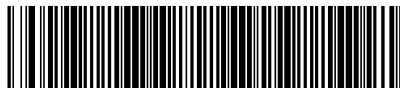
\ A\ FNC300000\ CR001400\ CR00000\ CR

ブザー音程=中



\ A\ FNC300000\ CR001401\ CR00000\ CR

ブザー音程=高



\ A\ FNC300000\ CR001402\ CR00000\ CR

ブザー音長（初期値=80ms）

音長=60ms



\ A\ FNC300000\ CR001606\ CR00000\ CR

音長=80ms



\ A\ FNC300000\ CR001608\ CR00000\ CR

音長=140ms



\ A\ FNC300000\ CR00160E\ CR00000\ CR

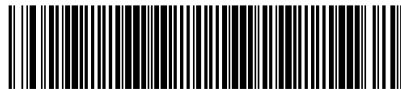
音長=200ms



\ A\ FNC300000\ CR001614\ CR00000\ CR

ブザー音量（初期値=大）

音量=小



\ A\ FNC300000\ CR001900\ CR00000\ CR

音量=中



\ A\ FNC300000\ CR001901\ CR00000\ CR

音量=大



\ A\ FNC300000\ CR001902\ CR00000\ CR

**ターゲット読み取りモード動作有効時間設定（初期値=中）**

ボタンを押した際、スキャナは LED の読み取りポイントが出力されます。ターゲット読み取りモードの有効時間が経過すると、通常のおムニディレクショナルモードに戻ります。以下のバーコードでターゲット読み取り有効時間の設定が可能です。

読み取り有効時間=最短



\ A\ FNC300000\ CR03B10F\ CR00000\ CR

読み取り有効時間=短



\ A\ FNC300000\ CR03B116\ CR00000\ CR

読み取り有効時間=中



\ A\ FNC300000\ CR03B128\ CR00000\ CR

読み取り有効時間=長



\ A\ FNC300000\ CR03B146\ CR00000\ CR

ターゲット読み取りモードからオムニディレクショナルモードまでの時間設定  
(初期値=中)

バーコードリーダーが、ターゲット読み取りモード操作で、バーコードを読み終えた後、以下のバーコードでオムニディレクショナルモードに戻るまでの時間の設定となります。

読み取り継続時間=短



\ A\ FNC300000\ CR03B216\ CR00000\ CR

読み取り継続時間=中



\ A\ FNC300000\ CR03B228\ CR00000\ CR

読み取り継続時間=長



\ A\ FNC300000\ CR03B246\ CR00000\ CR

## インターフェイスの選択

インターフェイス=RS232



\ A\ FNC300000\ CR000105\ CR000000\ CR

**RS232C インターフェイス**

インターフェイス=USBキーボード

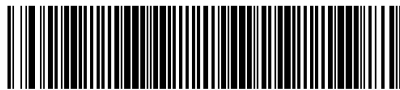


\ A\ FNC300000\ CR000135\ CR000000\ CR

**USB キーボードインターフェイス**

配列は P21 で設定願います

インターフェイス=キーボードウェッジ



\ A\ FNC300000\ CR000129\ CR000000\ CR

**キーボードウェッジインターフェイス**

**DOS/V 機、AT、PS/2、配列は P21 で設定願います**

## RS232 インターフェイスの設定

### 通信ボーレートの設定 (初期値=9600 bps)

ボーレート=1200bps



\ A\ FNC300000\ CR001 D04\ CR00000\ CR

ボーレート=2400bps



\ A\ FNC300000\ CR001 D03\ CR00000\ CR

ボーレート=4800bps



\ A\ FNC300000\ CR001 D02\ CR00000\ CR

ボーレート=9600bps



\ A\ FNC300000\ CR001 D01\ CR00000\ CR

ボーレート=19200bps



\ A\ FNC300000\ CR001 D00\ CR00000\ CR

ボーレート=38400bps



\ A\ FNC300000\ CR001 D06\ CR00000\ CR

ボーレート=57600bps



\ A\ FNC300000\ CR001D07\ CR00000\ CR

ボーレート=115200bps



\ A\ FNC300000\ CR001D08\ CR00000\ CR

パリティ・データビット長・ストップビット長  
パリティの設定 (初期値=パリティ無し)

パリティ=無し



\ A\ FNC300000\ CR001F00\ CR00000\ CR

パリティ=偶数



\ A\ FNC300000\ CR001F01\ CR00000\ CR

パリティ=奇数



\ A\ FNC300000\ CR001F02\ CR00000\ CR

## データビット長の設定 (初期値=8)

データビット長=7ビット



\ A\ FNC300000\ CR009B00\ CR00000\ CR

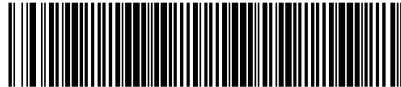
データビット長=8ビット



\ A\ FNC300000\ CR009B01\ CR00000\ CR

## ストップビット長の設定 (初期値=1 ビット)

ストップビット長=1ビット



\ A\ FNC300000\ CR002200\ CR00000\ CR

ストップビット長=2ビット



\ A\ FNC300000\ CR002201\ CR00000\ CR

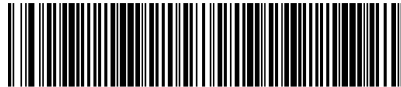
## ハンドシェイクの設定(初期値=ノープロトコル(無手順))

ハンドシェイク=無効



\ A\ FNC300000\ CR020F00\ CR00000\ CR

ハンドシェイク=CTSフロー



\ A\ FNC300000\ CR020F01\ CR00000\ CR

ハンドシェイク=CTSスキャン



\ A\ FNC300000\ CR020F02\ CR00000\ CR

キャラクタ間ディレイ時間設定 (初期値=無効)

読み取りデータの各キャラクタ間にディレイ (遅延) を発生させて、ホスト側で受信処理が遅い場合でも確実に受信を行うための機能です。

キャラクタ間ディレイ=無効



\ A\ FNC300000\ CR009C00\ CR00000\ CR

キャラクタ間ディレイ=10ms



\ A\ FNC300000\ CR009C01\ CR00000\ CR

キャラクタ間ディレイ=20ms



\ A\ FNC300000\ CR009C02\ CR00000\ CR

キャラクタ間ディレイ=30ms



\ A\ FNC300000\ CR009C03\ CR00000\ CR

キャラクタ間ディレイ=40ms



\ A\ FNC300000\ CR009C04\ CR00000\ CR

キャラクタ間ディレイ=50ms



\ A\ FNC300000\ CR009C05\ CR00000\ CR

キャラクタ間ディレイ=60ms



\ A\ FNC300000\ CR009C06\ CR00000\ CR

キャラクタ間ディレイ=70ms



\ A\ FNC300000\ CR009C07\ CR00000\ CR

キャラクタ間ディレイ=80ms



\ A\ FNC300000\ CR009C08\ CR00000\ CR

キャラクタ間ディレイ=90ms



\ A\ FNC300000\ CR009C09\ CR00000\ CR

ソフトウェアフロー制御 (XON/XOFF) (初期値=無効)

バーコードリーダーと接続機器間で XON/XOFF 文字を使用するかどうか選択します。

ソフトウェアフロー=無効



\ A\ FNC300000\ CR002100\ CR00000\ CR

ソフトウェアフロー=有効



\ A\ FNC300000\ CR002101\ CR00000\ CR

## キーボードウエッジ・USBキーボードの設定

キーボード=米国



\ A\ FNC300000\ CR030200\ CR000000\ CR

キーボード=日本



\ A\ FNC300000\ CR03020C\ CR000000\ CR

106 キーボード

### Caps Lock 機能の設定

この機能の ON/OFF 設定によって、デスクトップタイプの PC で大文字あるいは小文字で変換できます。

Caps Lock=無効



\ A\ FNC300000\ CR030400\ CR000000\ CR

Caps Lock=有効



\ A\ FNC300000\ CR030401\ CR000000\ CR

シフトキー=有効

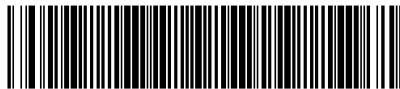


\ A\ FNC300000\ CR030402\ CR000000\ CR

### キーボードシュミレーション(初期値=無効)

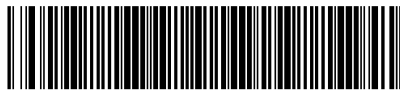
全ての PC は、起動時に PC に接続されているキーボードの状態をチェックします。キーボードを接続しないで使用する場合、この機能を有効にする事を推奨します。この機能は起動時のキーボードのタイミングと状態を再現して、PC が正常に起動するようにシミュレーションするものです。

キーボードシュミレーション=無効



\ A\ FNC300000\ CR028900\ CR00000\ CR

キーボードシュミレーション=有効



\ A\ FNC300000\ CR028901\ CR00000\ CR

### コントロール文字 (初期値=無効)

バーコードリーダーがホストに対して ASCII 制御文字をどのように送信するか指定します。

コントロール文字=無効



\ A\ FNC300000\ CR02C500\ CR00000\ CR

コントロール文字=有効



\ A\ FNC300000\ CR02C501\ CR00000\ CR

コントロール文字=ファンクションキー



\ A\ FNC300000\ CR02C502\ CR00000\ CR

## データフォーマットの設定

### ヘッダーの設定

ヘッダーキャラクタ=開始



登録する各キャラクタを巻末の ACCII キャラクタ配列表を見て、数字/アルファベットの hex コードにて入力します。

00~FF までの何れも最大 20 文字まで登録が可能です。

20 文字未満の場合は終了コードを 2 回読ませて下さい。



終了



ターミネータの設定  
ターミネータキャラクタ=開始



登録する各キャラクタを巻末の ACCII キャラクタ配列表を見て、数字/アルファベットの hex コードにて入力します。  
00~FF までの何れも最大 20 文字まで登録が可能です。  
20 文字未満の場合は終了コードを 2 回読ませて下さい。



終了



バーコード ID 付加機能の設定  
(初期値=コード ID 付加(バーコードデータの前))

以下3つのバーコードのいずれから ID 付加の位置を選択します。

コード ID を付加しない場合 下記バーコードを読ませて設定は完結します。  
コードID付加機能=無効



コード ID をバーコードデータの前あるいは後ろに付加したい場合

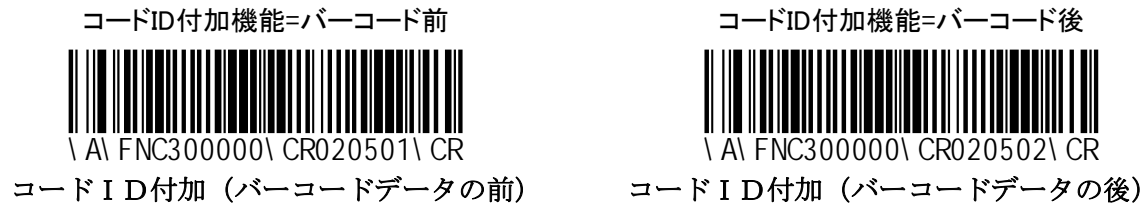


デフォルト設定の ID で終了したい場合は以下の終了のバーコードを読ませます。



コード ID をバーコードデータの前あるいは後ろに付加し、尚且つ ID をカスタムにしたい場合

手順 1 :



手順 2 : バーコード ID の登録をした場合、ID を付加したいバーコードを下記のバーコードから選択し、ID 登録文字を巻末の ACCII キャラクタ配列表から数字/アルファベットの hex コードから 1 文字あるいは 2 文字まで登録が可能です。

1 文字登録の場合、登録した ID コードの設定後、数字の 0 のバーコードを連続 6 回読ませます。

2 文字登録の場合、登録した ID コードの設定後、数字の 0 のバーコードを連続 4 回読ませます。

例えば、Code128 の頭に E を登録したい場合、1 文字登録なので、Code128 のコードを読ませ、次に数字の 4 と 5 のコードを読ませ、次に数字の 0 のコードを 6 回読ませた後、ビープ音が 2 回なります。 2 回ビープ音が鳴ったことを確かめた上で、最後に終了のコードを読ませて登録が完結します。

Code128 の頭に EE を 2 回よませて、次に数字の 0 のコードを 4 回読ませた後、ビープ音が 2 回なります。 2 回ビープ音が鳴ったことを確かめた上で、最後に終了のコードを読ませて登録が完結します。



コードID=UPC-A 2アドオン



\ A \ FNC300000 \ CR002D \ CR

(初期 ID=A)

コードID=UPC-A 5アドオン



\ A \ FNC300000 \ CR002E \ CR

(初期 ID=A)

コードID=UPC-E



\ A \ FNC300000 \ CR0025 \ CR

(初期 ID=E)

コードID=UPC-E 2アドオン



\ A \ FNC300000 \ CR002F \ CR

(初期 ID=E)

コードID=UPC-E 5アドオン



\ A \ FNC300000 \ CR0030 \ CR

(初期 ID=E)

コードID=EAN8



\ A \ FNC300000 \ CR0026 \ CR

(初期 ID=FF)

コードID=EAN13



\ A \ FNC300000 \ CR0027 \ CR

(初期 ID=F)

コードID=EAN13 w/P2アドオン



\ A \ FNC300000 \ CR0031 \ CR

(初期 ID=F)

コードID=EAN13 w/P5アドオン



\ A \ FNC300000 \ CR0032 \ CR

(初期 ID=A)

コードID=ISBN



\ A \ FNC300000 \ CR046A \ CR

(初期 ID=I)

コードID=IATA



\ A \ FNC300000 \ CR034CA \ CR

(初期 ID=IA)

コードID=GS1 Databar Omin



\ A \ FNC300000 \ CR04DA \ CR

(初期 ID=R4)

コードID=GS1 Databar Expand



\ A \ FNC300000 \ CR04DB \ CR

(初期 ID=RX)

コードID=Code39



\ A \ FNC300000 \ CR0035 \ CR

(初期 ID=\*)

コードID=Code128



\ A \ FNC300000 \ CR0039 \ CR

(初期 ID=#)

コードID=ITF 2 of 5



\ A \ FNC300000 \ CR0036 \ CR

(初期 ID=i)

コードID=Codabar



\ A \ FNC300000 \ CR0037 \ CR

(初期 ID=%)

コードID=Code11



\ A \ FNC300000 \ CR0347 \ CR

(初期 ID=@)

コードID=MSI/Plessey



\ A \ FNC300000 \ CR00BD \ CR

(初期 ID=@)

コードID=GS1 Databar Limited



\ A \ FNC300000 \ CR0357 \ CR

(初期 ID=RL)

以下のコードは Magellan 1000 では対応しておりません。

コードID=PDF417



\ A \ FNC300000 \ CR05A9 \ CR

(初期 ID=P)

コードID=MicroPDF417

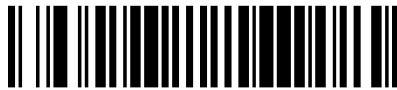


\ A \ FNC300000 \ CR0353 \ CR

(初期 ID=mP)

手順3：終了コードを読ませて ID 登録終了となります。

終了

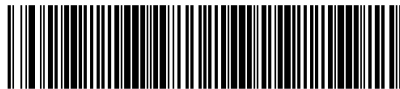


\ A \ FNC300000 \ CR

### 大文字/小文字変換の設定

読み取ったバーコードデータだけに影響し、コード ID、ヘッダー、ターミネータ等の付加データには影響を与えません。

大文字/小文字変換=無効



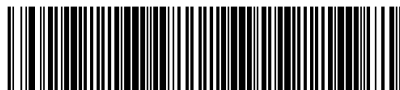
\ A \ FNC300000 \ CR033100 \ CR00000 \ CR

大文字変換=有効



\ A \ FNC300000 \ CR033101 \ CR00000 \ CR

小文字変換=有効



\ A \ FNC300000 \ CR033102 \ CR00000 \ CR

## 読み取りバーコードの設定

### UPC-A の設定

UPC-A=有効



\ A\ FNC300000\ CR02D01\ CR00000\ CR

UPC-A=無効



\ A\ FNC300000\ CR02D00\ CR00000\ CR

UPC-Aチェックデジット送信=無効



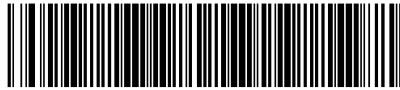
\ A\ FNC300000\ CR00B700\ CR00000\ CR

UPC-Aチェックデジット送信=有効



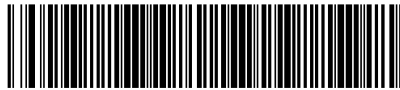
\ A\ FNC300000\ CR00B701\ CR00000\ CR

UPC-A→EAN13変換=無効



\ A\ FNC300000\ CR004300\ CR00000\ CR

UPC-A→EAN13変換=有効



\ A\ FNC300000\ CR004301\ CR00000\ CR

読み取り一致回数(初期値=1)

UPC-Aデコード一致回数=1回



\ A \ FNC300000 \ CR006101 \ CR00000 \ CR

1 回

UPC-Aデコード一致回数=2回



\ A \ FNC300000 \ CR006102 \ CR00000 \ CR

2 回

UPC-Aデコード一致回数=3回



\ A \ FNC300000 \ CR006103 \ CR00000 \ CR

3 回

UPC-Aデコード一致回数=4回



\ A \ FNC300000 \ CR006104 \ CR00000 \ CR

4 回

## UPC-E の設定

UPC-E=無効



UPC-E 無効

UPC-E=有効



UPC-E 有効 (初期値)

### チェックデジットの送信設定

UPC-Eチェックデジット送信=無効



無効

UPC-Eチェックデジット送信=有効



有効 (初期値)

UPC-E→EAN-A変換=無効



UPC-E から UPC-A への変換無効 (初期値)

UPC-E→EAN-A変換=有効



\ A\ FNC300000\ CR004101\ CR00000\ CR

**UPC-E から UPC-A の変換有効**

UPC-E→EAN13変換=無効



\ A\ FNC300000\ CR040200\ CR00000\ CR

**UPC-E から EAN13 への変換無効 (初期値)**

UPC-E→EAN13変換=有効



\ A\ FNC300000\ CR040201\ CR00000\ CR

**UPC-E から EAN13 への変換有効**

読み取り一致回数(初期値=1)

UPC-Eデコード一致回数=1回



\ A\ FNC300000\ CR006201\ CR00000\ CR

1 回

UPC-Eデコード一致回数=2回



\ A\ FNC300000\ CR006202\ CR00000\ CR

2 回

UPC-Eデコード一致回数=3回



\ A\ FNC300000\ CR006203\ CR00000\ CR

3 回

UPC-Eデコード一致回数=4回



\ A\ FNC300000\ CR006204\ CR00000\ CR

4 回

GTIN への変換（初期値=無効）

UPC/EAN13→GTIN変換=無効



\ A\ FNC300000\ CR051500\ CR00000\ CR

UPC/EAN13 から GTIN 変換無効

UPC/EAN13→GTIN変換=有効



\ A\ FNC300000\ CR051501\ CR00000\ CR

UPC/EAN13 から GTIN 変換有効

## EAN13 の設定

EAN13=有効



\ A\ FNC300000\ CR02D301\ CR00000\ CR

**EAN13 有効 (初期値)**

EAN13=無効



\ A\ FNC300000\ CR02D300\ CR00000\ CR

**EAN13 無効**

## チェックデジットの送信設定

EAN13チェックデジット送信=無効



\ A\ FNC300000\ CR00B900\ CR00000\ CR

**無効**

EAN13チェックデジット送信=有効



\ A\ FNC300000\ CR00B901\ CR00000\ CR

**有効 (初期値)**

ISBN=無効



\ A\ FNC300000\ CR02AA0D\ CR00000\ CR

**ISBN 削除無効 (初期値)**

ISBN=有効



\ A\ FNC300000\ CR02AA01\ CR00000\ CR

**ISBN 削除有効**

読み取り一致回数（初期値=1）

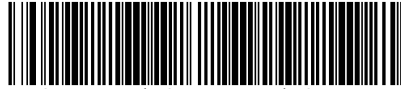
EAN13デコード一致回数=1回



\ A\ FNC300000\ CR006401\ CR00000\ CR

1 回

EAN13デコード一致回数=2回



\ A\ FNC300000\ CR006402\ CR00000\ CR

2 回

EAN13デコード一致回数=3回



\ A\ FNC300000\ CR006403\ CR00000\ CR

3 回

EAN13デコード一致回数=4回



\ A\ FNC300000\ CR006404\ CR00000\ CR

4 回

## EAN8 の設定

EAN8=有効



\ A\ FNC300000\ CR02D21\ CR00000\ CR

**EAN8 有効 (初期値)**

EAN8=無効



\ A\ FNC300000\ CR02D20\ CR00000\ CR

**EAN8 無効**

## チェックデジットの送信設定

EAN8チェックデジット送信=無効



\ A\ FNC300000\ CR00B800\ CR00000\ CR

**無効**

EAN8チェックデジット送信=有効



\ A\ FNC300000\ CR00B801\ CR00000\ CR

**有効 (初期値)**

EAN8→EAN13変換=無効



\A\FNC300000\CR012B00\CR00000\CR

**EAN8 から EAN13 への変換無効 (初期値)**

EAN8→EAN13変換=有効



\A\FNC300000\CR012B01\CR00000\CR

**EAN8 から EAN13 への変換有効**

読み取り一致回数（初期値=1）

EAN8デコード一致回数=1回



\ A\ FNC300000\ CR006501\ CR00000\ CR

1 回

EAN8デコード一致回数=2回



\ A\ FNC300000\ CR006502\ CR00000\ CR

2 回

EAN8デコード一致回数=3回



\ A\ FNC300000\ CR006503\ CR00000\ CR

3 回

EAN8デコード一致回数=4回



\ A\ FNC300000\ CR006504\ CR00000\ CR

4 回

## UPC/EANアドオンコードの設定

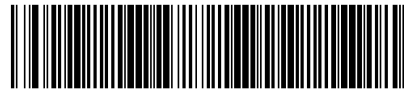
UPC/EANアドオン2=有効



\ A\ FNC300000\ CR051001\ CR00000\ CR

2桁アドオン有効

UPC/EANアドオン2=無効



\ A\ FNC300000\ CR051000\ CR00000\ CR

2桁アドオン無効 (初期値)

UPC/EANアドオン5=有効



\ A\ FNC300000\ CR051101\ CR00000\ CR

5桁アドオン有効

UPC/EANアドオン5=無効



\ A\ FNC300000\ CR051100\ CR00000\ CR

5桁アドオン無効 (初期値)

## JAN 2 段コードの設定

JAN2段コード=有効



\ A\ FNC300000\ CR004401\ CR000000\ CR

**JAN 2 段コード 有効**

JAN2段コード=無効



\ A\ FNC300000\ CR004400\ CR000000\ CR

**JAN 2 段コード 無効(初期値)**

## フラグ 1

フラグ1=書籍JANコード97 19有効



\ A\ FNC300000\ CR03730497FF19FF\ CR000000\ CR

**上段 2 桁 97 及び 19**

又は

フラグ1=書籍JANコード9784 19有効



\ A\ FNC300000\ CR037304978419FF\ CR000000\ CR

**上段 4 桁 9784 及び 19**

フラグ1=無効



\ A\ FNC300000\ CR03730321FF22FF\ CR000000\ CR

**フラグ 1 無効**

## フラグ 2

フラグ2=21 22有効



\ A\ FNC300000\ CR03700421FF22FF\ CR00000\ CR

上段 2桁 21 及び 22

フラグ2=無効



\ A\ FNC300000\ CR03700321FF22FF\ CR00000\ CR

フラグ 2 設定 無効

## フラグ 3

フラグ3=21 28有効



\ A\ FNC300000\ CR03710421FF28FF\ CR00000\ CR

上段 2桁 21 及び 28

フラグ3=無効



\ A\ FNC300000\ CR03710321FF28FF\ CR00000\ CR

フラグ 3 設定 無効

## フラグ 4

フラグ4=21 29有効



\ A\ FNC300000\ CR03720421FF29FF\ CR00000\ CR

上段 2桁 21 及び 29

フラグ4=無効



\ A\ FNC300000\ CR03720321FF29FF\ CR00000\ CR

フラグ 4 設定 無効

定期刊行物コード（雑誌）設定バーコード

定期刊行物コード=有効



\ A\ FNC300000\ CR05AB4918\ CR00000\ CR

定期刊行物バーコード 有効

定期刊行物コード=無効



\ A\ FNC300000\ CR05AB4910\ CR00000\ CR

定期刊行物バーコード 無効（初期値）

## GS1 Databar オムニディレクショナルの設定

GS1オムニディレクショナル=無効



\ A\ FNC300000\ CR04D000\ CR00000\ CR

**GS1 DataBar オムニディレクショナル無効 (初期値)**

GS1オムニディレクショナル=有効



\ A\ FNC300000\ CR04D001\ CR00000\ CR

**GS1 DataBar オムニディレクショナル有効**

読み取り一致回数（初期値=1）

GS1オムニディレクショナルデコード一致回数=1回



\ A\ FNC300000\ CR04D201\ CR00000\ CR

1 回

GS1オムニディレクショナルデコード一致回数=2回



\ A\ FNC300000\ CR04D202\ CR00000\ CR

2 回

GS1オムニディレクショナルデコード一致回数=3回



\ A\ FNC300000\ CR04D203\ CR00000\ CR

3 回

GS1オムニディレクショナルデコード一致回数=4回



\ A\ FNC300000\ CR04D204\ CR00000\ CR

4 回

## GS1 Databar リミテッドの設定

GS1リミテッド=無効



\ A\ FNC300000\ CR035400\ CR00000\ CR

**GS1 DataBar リミテッド無効 (初期値)**

GS1リミテッド=有効



\ A\ FNC300000\ CR035401\ CR00000\ CR

**GS1 DataBar リミテッド有効**

読み取り一致回数（初期値=1）

GS1リミテッドデコード一致回数=1回



\ A\ FNC300000\ CR035501\ CR00000\ CR

1 回

GS1リミテッドデコード一致回数=2回



\ A\ FNC300000\ CR035502\ CR00000\ CR

2 回

GS1リミテッドデコード一致回数=3回



\ A\ FNC300000\ CR035503\ CR00000\ CR

3 回

GS1リミテッドデコード一致回数=4回



\ A\ FNC300000\ CR035504\ CR00000\ CR

4 回

## GS1 DataBar エクスパンデッドの設定

GS1エクスパンデッド=無効



\ A\ FNC300000\ CR04D100\ CR00000\ CR

**GS1 DataBar エクスパンデッド無効 (初期値)**

GS1エクスパンデッド=有効



\ A\ FNC300000\ CR04D101\ CR00000\ CR

**GS1 DataBar エクスパンデッド有効**

## GS1 DataBar エクスパンデッドの読み取り桁数の設定

GS1エクスパンデッド<sup>®</sup>最小桁数指定



最小桁数設定



数字バーコードから最小数 2桁を選択

GS1エクスパンデッド<sup>®</sup>最大桁数指定



最大桁数設定



数字バーコードから最大数 2桁を選択

終了



読み取り一致回数（初期値=1）

GS1エキスパンデッドデコード一致回数=1回



\ A\ FNC300000\ CR04D301\ CR00000\ CR

1 回

GS1エキスパンデッドデコード一致回数=2回



\ A\ FNC300000\ CR04D302\ CR00000\ CR

2 回

GS1エキスパンデッドデコード一致回数=3回



\ A\ FNC300000\ CR04D303\ CR00000\ CR

3 回

GS1エキスパンデッドデコード一致回数=4回



\ A\ FNC300000\ CR04D304\ CR00000\ CR

4 回

## Code39 の設定

Code39=無効



\ A\ FNC300000\ CR008E0\ CR00000\ CR

**Code39 無効**

Code39=有効

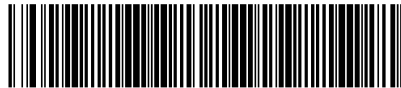


\ A\ FNC300000\ CR008E1\ CR00000\ CR

**Code39 有効 (初期値)**

## チェックデジット照合の設定

Code39チェックデジット=無効



\ A\ FNC300000\ CR005500\ CR00000\ CR

**無効**

Code39チェックデジット=有効



\ A\ FNC300000\ CR005501\ CR00000\ CR

**有効**

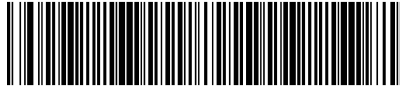
## チェックデジット送信設定

Code39チェックデジット送信=有効



\ A\ FNC300000\ CR008A01\ CR00000\ CR  
有効 (初期値)

Code39チェックデジット送信=無効



\ A\ FNC300000\ CR008A00\ CR00000\ CR  
無効

## スタートストップキャラクタの送信設定

Code39スタート/ストップキャラクタ=無効



\ A\ FNC300000\ CR022400\ CR00000\ CR  
無効 (初期値)

Code39スタート/ストップキャラクタ=有効



\ A\ FNC300000\ CR022401\ CR00000\ CR  
有効

## Code 39 Full ASCII の設定

Code39フルASCII=無効



\ A\ FNC300000\ CR022F00\ CR00000\ CR

**Code39 Full ASCII 無効 (初期値)**

Code39フルASCII=有効



\ A\ FNC300000\ CR022F01\ CR00000\ CR

**Code39 Full ASCII 有効**

## Code39 読み取り桁数の設定

Code39最小桁数指定



\ A \ FNC300000 \ CR04B2 \ CR

最小桁数設定



数字バーコードから最小数 2桁を選択

Code39最大桁数指定



\ A \ FNC300000 \ CR04B3 \ CR

最大桁数設定



数字バーコードから最大数 2桁を選択

終了



\ A \ FNC300000 \ CR

## ステッチング設定 (Code39)

Code39ステッチ=有効



\ A\ FNC300000\ CR00D101\ CR00000\ CR

ステッチング有効

Code39ステッチ=無効



\ A\ FNC300000\ CR00D100\ CR00000\ CR

ステッチング無効

## 読み取り一致回数 (初期値=1回)

Code39デコード一致回数=1回



\ A\ FNC300000\ CR006B01\ CR00000\ CR

1回

Code39デコード一致回数=2回



\ A\ FNC300000\ CR006B02\ CR00000\ CR

2回

Code39デコード一致回数=3回



\ A\ FNC300000\ CR006B03\ CR00000\ CR

3回

Code39デコード一致回数=4回



\ A\ FNC300000\ CR006B04\ CR00000\ CR

4回

## Code128 の設定

Code128=無効



Code128 無効

Code128=有効



Code128 有効

## ファンクションキャラクターの送信の設定

ファンクションキャラクタ送信=無効



無効

ファンクションキャラクタ送信=有効



有効

## Code128 読み取り桁数の設定

Code128最小桁数指定



\ A \ FNC300000 \ CR04B8 \ CR

最小桁数設定



数字バーコードから最小数 2桁を選択

Code128最大桁数指定



\ A \ FNC300000 \ CR04B9 \ CR

最大桁数設定



数字バーコードから最大数 2桁を選択

終了



\ A \ FNC300000 \ CR

## ステッチング設定 (Code128)

Code128ステッチ=無効



\ A\ FNC300000\ CR06A800\ CR00000\ CR

ステッチング無効 (初期値)

Code128ステッチ=有効



\ A\ FNC300000\ CR06A801\ CR00000\ CR

ステッチング有効

読み取り一致回数（初期値=1回）

Code128デコード一致回数=1回



\ A\ FNC300000\ CR006F01\ CR00000\ CR

1回

Code128デコード一致回数=2回



\ A\ FNC300000\ CR006F02\ CR00000\ CR

2回

Code128デコード一致回数=3回



\ A\ FNC300000\ CR006F03\ CR00000\ CR

3回

Code128デコード一致回数=4回



\ A\ FNC300000\ CR006F04\ CR00000\ CR

4回

## ITF 2 of 5 の設定

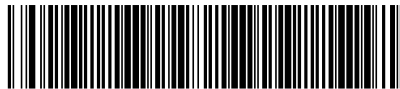
ITF 2 of 5=有効



\ A\ FNC300000\ CR00901\ CR00000\ CR

**ITF 2 of 5 有効**

ITF 2 of 5=無効



\ A\ FNC300000\ CR00900\ CR00000\ CR

**ITF 2 of 5 無効**

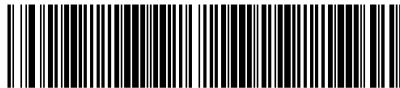
## チェックデジット照合

ITFチェックデジット=無効



\ A\ FNC300000\ CR007000\ CR00000\ CR  
無効 (初期値)

ITFチェックデジット=有効



\ A\ FNC300000\ CR007001\ CR00000\ CR  
有効

## チェックデジット送信設定

ITFチェックデジット送信=無効



\ A\ FNC300000\ CR008B00\ CR00000\ CR  
無効 (初期値)

ITFチェックデジット送信=有効



\ A\ FNC300000\ CR008B01\ CR00000\ CR  
有効

## ITF 読み取り桁数の設定

ITF最小桁数指定



最小桁数設定



数字バーコードから最小数 2 桁を選択

ITF最大桁数指定



最大桁数設定



数字バーコードから最大数 2 桁を選択

終了



## ステッチング設定 (ITF)

ITFステッチ=無効



\ A\ FNC300000\ CR06AF00\ CR00000\ CR

ステッチング無効 (初期値)

ITFステッチ=有効



\ A\ FNC300000\ CR06AF01\ CR00000\ CR

ステッチング有効

読み取り一致回数 (ITF)

ITFデコード一致回数=1回



\ A\ FNC300000\ CR006D01\ CR00000\ CR

1 回

ITFデコード一致回数=2回



\ A\ FNC300000\ CR006D02\ CR00000\ CR

2 回

ITFデコード一致回数=3回



\ A\ FNC300000\ CR006D03\ CR00000\ CR

3 回

ITFデコード一致回数=4回



\ A\ FNC300000\ CR006D04\ CR00000\ CR

4 回

## Codabar(NW7) の 設定

Codabar=有効



\ A\ FNC300000\ CR008F1\ CR00000\ CR

Codabar(NW7) の 有効

Codabar=無効



\ A\ FNC300000\ CR008F0\ CR00000\ CR

Codabar(NW7) の 無効

## チェックデジット照合

Codabarチェックデジット=無効



\ A\ FNC300000\ CR007100\ CR00000\ CR

無効 (初期値)

Codabarチェックデジット=有効



\ A\ FNC300000\ CR007101\ CR00000\ CR

有効

## チェックデジット送信設定

Codabarチェックデジット送信=無効



\ A \ FNC300000 \ CR008C00 \ CR00000 \ CR

無効 (初期値)

Codabarチェックデジット送信=有効



\ A \ FNC300000 \ CR008C01 \ CR00000 \ CR

有効

## Codabar(NW7) 読み取り桁数の設定

Codabar最小桁数指定



最小桁数設定



数字バーコードから最小数 2桁を選択

Codabar最大桁数指定



最大桁数設定



数字バーコードから最大数 2桁を選択  
終了



## スタートストップキャラクターの設定

Codabarスタート/ストップキャラクター=ABCD/TN\*E



\ A\ FNC300000\ CR022E00\ CR00000\ CR

スタートキャラクター : ABCD ストップキャラクター : N

Codabarスタート/ストップキャラクター=ABCD/ABCD



\ A\ FNC300000\ CR022E01\ CR00000\ CR

スタートキャラクター : ABCD ストップキャラクター : ABCD

Codabarスタート/ストップキャラクター=abcd/tn\*e



\ A\ FNC300000\ CR022E02\ CR00000\ CR

スタートキャラクター : abcd ストップキャラクター : N

Codabarスタート/ストップキャラクター=abcd/abcd

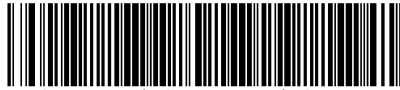


\ A\ FNC300000\ CR022E03\ CR00000\ CR

スタートキャラクター : abcd ストップキャラクター : abcd

## スタートストップキャラクタの送信

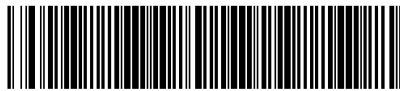
Codabarスタート/ストップキャラクタ=無効



\ A\ FNC300000\ CR009300\ CR00000\ CR

無効

Codabarスタート/ストップキャラクタ=有効

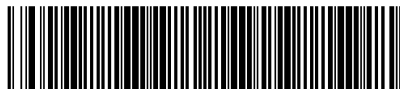


\ A\ FNC300000\ CR009301\ CR00000\ CR

有効

## 等価チェック

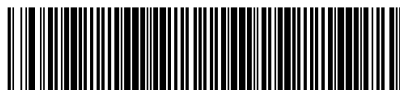
Codabarスタート/ストップキャラクタ等価チェック=無効



\ A\ FNC300000\ CR023200\ CR00000\ CR

無効 (初期値)

Codabarスタート/ストップキャラクタ等価チェック=有効



\ A\ FNC300000\ CR023201\ CR00000\ CR

有効

## ステッチング設定 (Codabar)

Codabarステッチ=無効



\ A\ FNC300000\ CR06AD00\ CR00000\ CR

ステッチング無効 (初期値)

Codabarステッチ=有効



\ A\ FNC300000\ CR06AD01\ CR00000\ CR

ステッチング有効

読み取り一致回数 (Codabar)

Codabarデコード一致回数=1回



\ A\ FNC300000\ CR006C01\ CR00000\ CR

1回

Codabarデコード一致回数=2回



\ A\ FNC300000\ CR006C02\ CR00000\ CR

2回

Codabarデコード一致回数=3回



\ A\ FNC300000\ CR006C03\ CR00000\ CR

3回

Codabarデコード一致回数=4回



\ A\ FNC300000\ CR006C04\ CR00000\ CR

4回

## Code 93の設定

Code93=無効



\ A\ FNC300000\ CR009100\ CR00000\ CR

**Code93 の 無効**

Code93=有効



\ A\ FNC300000\ CR009101\ CR00000\ CR

**Code93 の 有効**

## ステッチング設定 (Code93)

Code93ステッチ=無効



\ A\ FNC300000\ CR06AE00\ CR00000\ CR

**ステッチング無効 (初期値)**

Code93ステッチ=有効



\ A\ FNC300000\ CR06AE01\ CR00000\ CR

**ステッチング有効**

## 読み取り一致回数 (Code93)

Code93デコード一致回数=1回



\A\FNC300000\CR006E01\CR000000\CR  
1回

Code93デコード一致回数=2回



\A\FNC300000\CR006E02\CR000000\CR  
2回

Code93デコード一致回数=3回



\A\FNC300000\CR006E03\CR000000\CR  
3回

Code93デコード一致回数=4回



\A\FNC300000\CR006E04\CR000000\CR  
4回

## MSI/Plessey の設定

MSI/Plessey=無効



\ A\ FNC300000\ CR00C100\ CR00000\ CR

MSI/Plessey の 無効

MSI/Plessey=有効



\ A\ FNC300000\ CR00C101\ CR00000\ CR

MSI/Plessey の有効

## チェックデジットの照合 (MSI/Plessey)

MSI/Plesseyチェックデジット=無効



\ A\ FNC300000\ CR021600\ CR00000\ CR

無効 (初期値)

MSI/Plesseyチェックデジット=有効



\ A\ FNC300000\ CR021601\ CR00000\ CR

有効

## チェックデジットの送信設定 (MSI/Plessey)

MSI/Plesseyチェックデジット送信=無効



\ A\ FNC300000\ CR008E00\ CR00000\ CR

無効 (初期値)

MSI/Plesseyチェックデジット送信=有効



\ A\ FNC300000\ CR008E01\ CR00000\ CR

有効

## チェックデジット数の選択 (MSI/Plessey)

MSI/Plesseyチェックデジット数=1



\ A\ FNC300000\ CR021700\ CR00000\ CR

1

MSI/Plesseyチェックデジット数=2



\ A\ FNC300000\ CR021701\ CR00000\ CR

2

## MSI/Plessey 読み取り桁数の設定

MSI/Plessey最小桁数指定



\ A \ FNC300000 \ CR00CB \ CR

最小桁数設定



数字バーコードから最小数 2桁を選択

MSI/Plessey最大桁数指定



\ A \ FNC300000 \ CR00CC \ CR

最大桁数設定



数字バーコードから最大数 2桁を選択

終了



\ A \ FNC300000 \ CR

ステッチング設定 (MSI/Plessey)

MSI/Plesseyステッチ=無効



\ A\ FNC300000\ CR050000\ CR00000\ CR

ステッチング無効 (初期値)

MSI/Plesseyステッチ=有効



\ A\ FNC300000\ CR050001\ CR00000\ CR

ステッチング有効

## 読み取り一致回数 (MSI/Plessey)

MSI/Plesseyデコード一致回数=1回



\ A\ FNC300000\ CR00BF01\ CR00000\ CR

1 回

MSI/Plesseyデコード一致回数=2回



\ A\ FNC300000\ CR00BF02\ CR00000\ CR

2 回

MSI/Plesseyデコード一致回数=3回



\ A\ FNC300000\ CR00BF03\ CR00000\ CR

3 回

MSI/Plesseyデコード一致回数=4回



\ A\ FNC300000\ CR00BF04\ CR00000\ CR

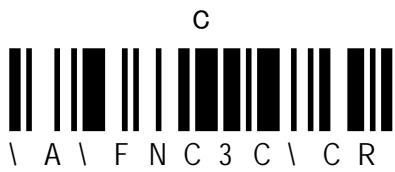
4 回

0～9の数字バーコード





A~Fのバーコード



## ASCII キャラタク配列表

ASCIIキャラクター一覧表(00hex~7Fhex)

下位桁 \ 上位桁	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SPACE	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	;
D	CR	GS	-	=	M	]	m	
E	SO	RS	.	>	N	^	n	-
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

ASCIIキャラクター一覧表(83hex~98hex)

Hex	キー	Hex	キー	Hex	キー	Hex	キー	Hex	キー
83	ENTER	88	F4	8D	F9	92	END	97	←
84	TAB	89	F5	8E	F10	93	PG UP	98	→
85	F1	8A	F6	8F	F11	94	PG DOWN		
86	F2	8B	F7	90	F12	95	↑		
87	F3	8C	F8	91	HOME	96	↓		